

記

一. 植田和弘教授退職記念公開シンポジウム

主催 京都大学大学院経済学研究科

後援 環境経済・政策学会 (SEEPS)

日時 平成 29 年 3 月 8 日 (水)

9 時 30 分から 17 時 15 分 (開場 9 時)

場所 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール I II III

※下記 3 の建物となります

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/

参加自由 (無料・事前申込み必要)

(以下プログラムの詳細)

9 : 30~9 : 45 挨拶 : 文世一経済学研究科長(京都大学)、開会の言葉 : 諸富徹(京都大学)
・趣旨説明

9 : 45~11 : 00 「中国の環境問題と環境政策」セッション

・森晶寿(京都大学) : 座長

孫穎 (横浜国立大学) 「中国の循環経済に関する研究とその後の研究展開」

何彦旻(京都大学) 「中国の環境資源税制研究—植田先生との 14 年間を振り返って」

金紅実 (龍谷大学) 「植田先生と中国環境行財政システムの研究及び環境基礎人材育成への挑戦」

11 : 00~12 : 15 「持続可能な発展の理論」セッション

・佐藤真行(神戸大学) : 座長

山口臨太郎(九州大学) 「ストックによる持続可能性評価」

籠橋一輝 (南山大学) 「クリティカル自然資本と持続可能性」

山本芳華 (平安女学院大学) 「持続可能なまちづくりをめざして」

12 : 15~13 : 15 ランチ休憩

13：15～14：30 「循環型社会と廃棄物・リサイクル」セッション

・小野隆弘（長崎大学）：座長

山川肇（京都府立大学）「ごみ有料化と拡大生産者責任の環境経済学」

横尾英史（国立環境研究所）「植田先生に招待された廃棄物とリサイクルの経済学」

沼田大輔（福島大学）「植田先生に導いて頂いたデポジット制度の環境経済学」

14：30～15：45 「地方財政と環境・文化」セッション

・川瀬光義（京都府立大学）：座長

西村宣彦（北海学園大学）「自治体財政再建と地域持続可能性」

川勝健志（京都府立大学）「持続可能な地域発展と地方環境税の可能性」

後藤和子（摂南大学）「文化と財政システム」

15：45～16：00 休憩

16：00～17：15 「環境政策手法とエネルギー政策」セッション

・諸富徹（京都大学）：座長

浜本光紹（獨協大学）「グリーン・イノベーションへのまなざしー環境政策と技術革新の
経済分析を中心にー」

高村ゆかり（名古屋大学）「未定」

寺西俊一（帝京大学）「『廃棄物とリサイクルの経済学』から、『緑のエネルギー原論』へ
ー植田和弘教授の業績に学ぶー」

植田和弘教授退職に際してのメッセージ

・宮本憲一（大阪市立大学名誉教授）

・池上惇（京都大学名誉教授）

閉会の言葉：諸富徹（京都大学）